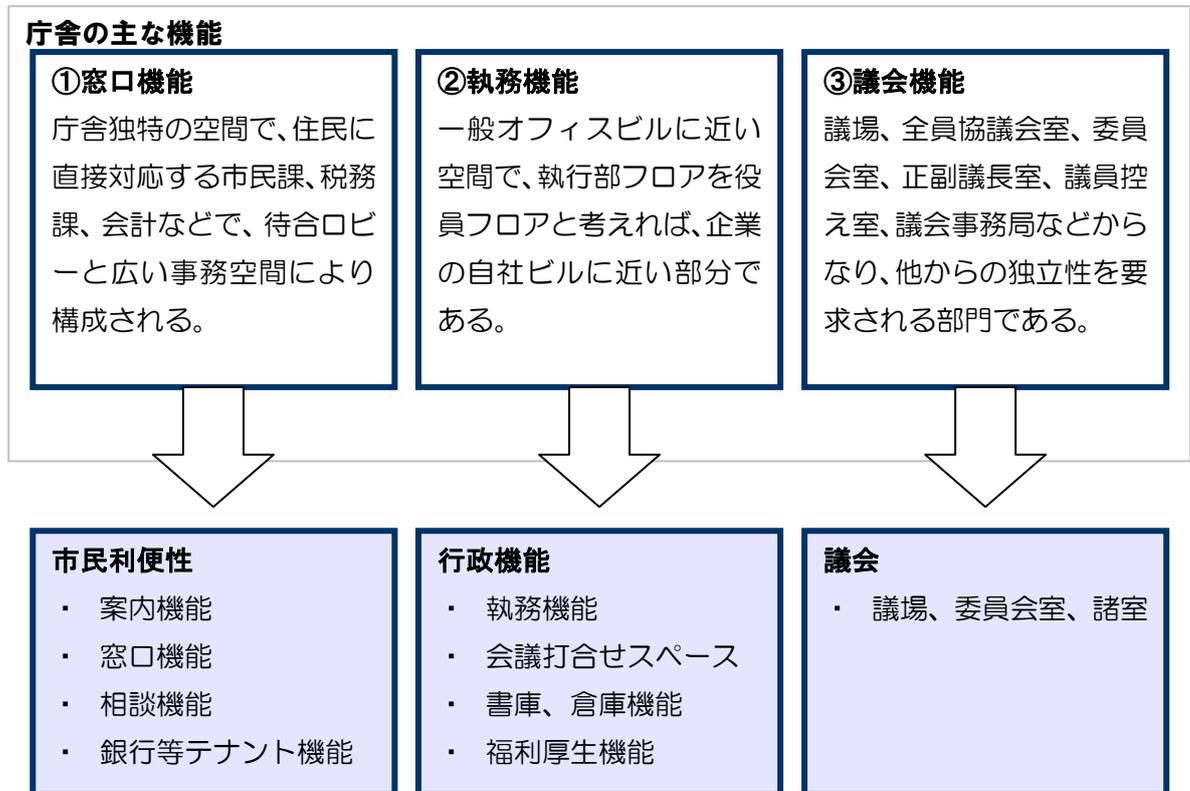


近年の庁舎整備の考え方について【参考】

庁舎の機能

庁舎の機能は主に3つの機能に分けることができます。窓口機能、執務機能、議会機能です。



■新庁舎に求められる機能（習志野市庁舎建設事業手法等検討調査業務報告書より）

- ・ 市民に便利でわかりやすい庁舎機能 【ワンストップ、バリアフリー対応】
- ・ 防災拠点としての庁舎機能 【耐震性能向上、自家発電、防災司令室、避難所機能】
- ・ 市民に開かれた議会機能 【利用しやすい傍聴席、議員活動スペース】
- ・ 市民協働の拠点としての庁舎機能 【市民活動スペース】
- ・ 環境負荷に配慮した庁舎機能 【自然エネルギーの活用、超寿命化、維持監理費の提言】
- ・ 効率的で働きやすい庁舎機能 【コソナ外な庁舎空間、IT化、セキュリティ】
- ・ 適切な駐車・駐輪機能

● Point ●

習志野市庁舎にあるべき姿や備えるべき機能は？

近年の庁舎整備の考え方について【参考】

<近年の庁舎整備の考え方について>

・ 市民に親しまれる（市民に開かれた）施設

地方分権・地域間競争の時代を迎え、新たな魅力を創出し市内の活性化を向上させるためには、市民と行政が一体となって創意工夫し、様々な課題に積極的に取り組むことが必要となってきました。

・ ユニバーサルデザイン・バリアフリー対応の施設

本格的な少子・高齢社会の時代を迎え、すべての人が自立した個人として参画できる社会の実現が求められています。このため、社会を構成する建築物を含めた社会資本を整備する上でも、だれもが利用出来る施設整備が重要な課題となっています。

・ 環境共生型の施設

エネルギーの使用の合理化に関する法律、地球温暖化対策推進法の改正など、温暖化対策に関する社会情勢が大きく変化する中、市は様々な環境施策を進めるとともに、より一層の率先的かつ積極的な環境配慮行動を進める必要があります。

・ 防災拠点となる施設

耐震性に問題がある現庁舎は倒壊の恐れがあり、さらには、防災・災害復興拠点としての果たすべき機能が担えない状態です。

・ 経済性・耐久性を考慮した施設

庁舎を維持管理していくに当たって、ライフサイクルコストを含めた経済性に配慮し、各分野において決して過剰な投資とならないよう長期間にわたり庁舎としての基本性能を維持していくことを前提とした耐久性のある施設づくりを行う必要があります。

・ 情報化に対応した施設

携帯電話に見られるように、情報処理技術の発展は人々のライフスタイルを大きく変化させています。行政事務処理ではすでに住民基本台帳ネットワークシステムが稼働しているところであり、行政サービス事務の維持向上が期待されます。

近年の庁舎整備の考え方について【参考】

＜庁舎の多様な役割・機能に関するメニュー例＞

庁舎に求められる役割	施設整備具体例(※一部ソフト面を含む)
行政事務機能	窓口スペース/会議室/資料室 等
議会機能	議場/委員会室/議会図書室 等
行政サービス提供の場	窓口スペース/市民相談室/情報閲覧室 等
誰もが利用しやすい庁舎	ユニバーサルデザインの登用/わかりやすいフロア構成及び動線整備/使いやすい設備機器/見やすくわかりやすい案内表示/フロアマナーの設置/ワンストップサービスの実施 等
利便性に配慮した庁舎	アクセスの整備/総合窓口の設置(ワンストップサービスの実現)/支所機能の充実/オンラインによる24時間受付/生活利便施設の設置 等
情報化に対応した庁舎	OA環境の充実/フリーアドレスの導入/電子行政(書類の電子化、庁内ネットワークの整備等)の実現 等
環境に配慮した庁舎	エコマテリアルの使用/施設・設備の長寿命化/周辺環境への配慮/フレキシブルに対応できる諸室/省エネの実現/自然エネルギーの利用/廃棄物の削減 等
景観に配慮した庁舎	周辺景観への配慮/地域になじんだ景観/地域の象徴(シンボル)となる庁舎像/ 等
防災拠点としての庁舎	防災機能の整備/情報機能の強化/生活物資の備蓄/非常用電源の設置/新エネルギーの導入/オープンスペースの確保 等
安心・安全な庁舎	耐震性の確保/免震・制震構造の導入/非常用電源の設置/新エネルギーの導入/災害予測調査結果等に配慮した配置 等
行政改革を推進する庁舎	機能及び組織の分散又は集中/時勢に対応した組織体制の整備 等
市民が憩い・集える庁舎	住民参画や情報公開の場の提供/パブリックスペースの充実/NPO等、市民活動の支援 等
市のシンボルとなる庁舎	各種機能(商業・観光・業務・居住・文化等)の拠点における整備/地域の象徴(シンボル)となる庁舎像/地場産業や観光等の案内 等
まちづくりの中核となる庁舎	住民参画の場の提供/地域アピール等の促進/パブリックスペースの充実/まちづくり講座等の開催 等
地域に根ざした庁舎	パブリックスペースの充実/生活利便施設(福利厚生施設)の設置/住民参画や情報公開の場の提供/NPO等、市民活動の支援 等
効率的で動きやすい庁舎	余裕あるフロア構成/効率的な作業動線/収納スペースの確保/共有空間の確保 等
ライフサイクルを意識した庁舎	諸室の転用/素材の耐用年数の考慮/維持管理しやすい素材の使用/自然エネルギーの利用/シンプルかつ低コスト 等

近年の庁舎整備の考え方について【参考】

■用語の定義

用語	説明
ユニバーサルデザイン	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。
フロアマネージャー	来庁者の要望を聞いて的確に手配する役目の人。総合案内のように来庁者が質問に来るのを待つのではなく、困っていそうな人に積極的に声を掛けて対応する能動的に対応する人。
ワンストップサービス	1 か所で、必要な行政手続きをすべて済ませることが出来るサービスのこと。
エコマテリアル	優れた特性・機能を持ちながら、より少ない環境負荷で製造・使用・リサイクルまたは廃棄でき、しかも人に優しい材料（または材料技術）」を指す
フレキシブル	融通のきくさま。柔軟性のあるさま。 例) 大会議室 1 室を可動間仕切りで小会議室 2 室として利用できる等利用状況によって柔軟に対応できること。
パブリックスペース	公共の空間。誰もが自由に入出入りできる開放的な場所のこと。 例) エントランスホール